

学校だより

10月号

みんなが笑顔になる学校！



秋の気配を感じながら



9月に入っても暑い毎日が続いていましたが、ようやく秋を感じる季節となりました。休み時間に運動場で楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿を見ると、見ているこちらも何だか嬉しい気持ちになります。

今日から10月に入ります！陸上記録会や音楽会に向けての練習が始まったり、遠足や社会見学があったり、県の学習到達度調査があったりと、何かと慌ただしい毎日になりそうです。やっと過ごしやすくなってきたこの秋の気配をしっかりと感じながら、一日一日を大切に過ごしたいと思います。



主体性を育むために

今年度前半を振り返りながら、終業式で子どもたちに話す言葉を考えていました。授業中に教科の学習に頑張る姿、休み時間に楽しそうに仲間と遊ぶ姿、学校生活の様々な場面で見せてくれる笑顔や思いやりなど素敵な思い出が多いのですが、その感想だけでなく何か大切なことを伝えたいと思いました。

2学期制の本校では、10月は学期が入れ替わる節目の時期でもあります。それにしても、なぜ1年間という区切りだけではなく、学期による区切りがあるのでしょうか？私はその答えを「立ち止まり、振り返る」ためだと考えています。4月から今日まで、子どもたちはそれぞれのペースで走り続けてきました。しかし、懸命に走っているだけでは、いつの間にか目的地を失ってしまった、その方向がずれてしまうこともあります。走っている時には気づかなかったこれらのことも、「立ち止まり振り返る」ことによって自ら向かう方向を再確認し、「さあ、また頑張ろう！」と意識を高めることができるのです。大切なことは、それを子どもたち自身で行うことであり、それを促す大人の役割が重要となります。

9日(金)には担任の先生から1学期の通知表が手渡されます。折角の機会ですので、ぜひこの通知表を通してお子様との会話の時間をとっていただければと思います。そして、いろいろ言いたい気持ちをまずはグッと抑え、「この半年間はどうだった？」「2学期はどうしていきたい？」と彼ら自身が自らを振り返り、新たな目標を立てるための自己決定を促す言葉がけをお願いします。

自分で考え・判断し・行動する力（主体性）を育むために・・・

「学文路子どもまつり」を盛り上げよう！



今年は、共創(きょうそう)というテーマのもとで、児童・教職員・保護者・地域住民が協力してイベントを創り上げることを大切な価値としています。私は、この取組を通して「みんなで創り上げることの価値を実感してもらいたいと思っています。そして、子どもたちには「学校をつくっていくのも社会をつくっていくのも自分たちなんだ」という当事者意識をもってもらいたいと思っています。また、これまで保護者(PTA)と地域(KamuKamu交流Day)の接点が少なかったので、この機会を通じて繋がりを深めたいと考えています。

先日の関係者会議では、それぞれ話し合った内容が持ち寄られ、検討の結果その概要が決まりま